

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
産業用地の創出・確保	1	地域未来投資促進法を活用した産業用地整備推進事業	製造業等の企業誘致を推進するため、高速道路インターチェンジや幹線道路に近いなど、産業用地として競争力が高い地区について、地域未来投資促進法の活用等による民間開発を促進し、産業用地の整備を推進する。	●	●	企業立地支援課	地域未来投資促進法を活用した産業用地創出面積	—	—	20ha (R10まで)	20ha (R10まで)						6,300	6,300
スタートアップの創出・成長(社会課題解決に資する企業の育成・支援)	2	企業変革・スタートアップ・グロスサポート事業	市内スタートアップの成長加速化を促進する「成長支援プログラム」と、スタートアップによる行政課題解決や市内企業との協業を促進する「イノベーション支援プログラム」によって、スタートアップに対し資金支援・伴走支援を実施する。 また、北九州市の様々な課題とスタートアップをマッチングし、解決する共創プラットフォームを運用する。	●	●	スタートアップ推進課	支援先スタートアップの新規雇用人数(市内)	—	—	10人	10人						84,500	94,812
	3	スタートアップ起業家育成サポート事業	学生を対象とした起業家を育成する体験プログラムを実施するとともに、北九州市から起業家を輩出し育成する民間主体のアクセラレーションプログラムの取組に対する助成などを通じて、北九州市内でのスタートアップ創出に取組む。	●	●	スタートアップ推進課	起業に関心を持った生徒の割合	60.0%	R5	70.0%	70.0%						3,000	5,000
	4	北九州テレワークセンター管理運営事業	創業支援の中核施設として、資金の乏しい創業期の企業に安価な小規模オフィスやコワーキングスペースを提供するとともに、創業相談や事業拡大支援、起業家や起業を目指す方の交流、各種セミナーなどを実施し、北九州市の創業シーンの活性化を目指す。	●	●	スタートアップ推進課	施設入居率	97.0%	R5	95.0%	95.0%						104,180	103,180
	5	スタートアップ成長支援ファンド事業	スタートアップの資金調達ニーズに対応するため、ファンドへの出資や、ファンドを運営するベンチャーキャピタル等と連携したハンズオン支援により、北九州市のスタートアップ等への成長支援を実施する。		●	スタートアップ推進課	投資先スタートアップの新規雇用人数(市内)	—	—		10人							100,000
	6	若者ワークプラザ北九州、U・Iターン応援プロジェクト運営事業	概ね40歳までの若年者及び就職氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等の実施により、若年者の就業支援を実施する。 U・Iターン応援プロジェクトでは、市外からのU・Iターン希望者と市内企業とのマッチングを支援し、市外からの人材選流及び市内企業の人材不足解消を目指す。	●	●	雇用・産業人材政策課	就職決定者数(プラザ)	935人	R5	1,300人	1,300人	就職決定者数(UI)	234人	R5	300人	300人	129,512	134,129
若者と企業とのマッチングによる人材確保	7	学生の地元就職促進事業	大学生等のインターンシップや高校生の就職ガイダンス等の実施を通じて、生徒・学生と地元企業との出会いの場を広く提供するほか、民間プラットフォームを活用し、市内出身者やゆかりのある方への情報発信や地元企業との交流を図る。	●	●	雇用・産業人材政策課	新卒学生の地元就職率	35.7%	R4	35.8%	36.9%						29,500	17,500
	8	北九州ゆめみらいワーク事業	「仕事」と「学び」をテーマとした体験・交流イベントの開催を通じて、若者のキャリア形成や将来の市内就職につなげる。 開催10回目にあたり、様々な職業についての学びや理解がより深まるよう、充実した体験プログラムを展開する。	●	●	雇用・産業人材政策課	アンケートにおいて、本イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した出展者の割合	95.0%	R5	95.0%	95.0%	アンケートにおいて、本イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した来場者の割合	89.0%	R5	89.0%	89.0%	25,000	40,000
	9	地域の人事部支援事業	若い世代の人材不足が強まるなか、採用にコストや人を割けない中小企業では、人材確保が困難な状況にあるため、企業合同による人材の発掘からマッチングづくりを一気通貫で支援し、若手人材の確保と定着を図る。 併せて、経営層等に対して、多様な人材が働きやすい環境づくりや、人材育成など人的資本経営の重要性を理解するためのマインドセットセミナーを行いサポートする。	●	●	雇用・産業人材政策課	最終選考候補者数	—	—	30人	30人						20,000	25,000

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
女性のキャリア形成支援	10	女性のはたらく応援事業	女性の就業を促進するため、家庭と仕事の両立や勤務時間の制約など女性特有の課題に対応した多様な働き方を提示するとともに、未就業女性と企業の交流会、働く女性のキャリア形成支援など、多方面から「女性のはたらく」を応援する。	●		雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	624人	R5	700人							5,072	
	11	みらいのわたし応援事業	女性の自分らしい生き方・働き方の実現に向けて、様々な環境の女性やロールモデルとの交流、多様な働き方の学び、ITスキル習得と企業のマッチングなど、一体的に支援する。		●	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	624人	R5		700人							
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	12	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	国・県・市の3者が緊密に連携し、就職、キャリアアップ、創業、子育てとの両立など、女性の職業生活における活躍をワンストップで総合的に支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	●	●	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	624人	R5	700人	700人						31,316	31,316
	13	北九州発！女性が輝くリーディングカンパニー創出事業	女性が働きやすい先進的な職場環境づくりを支援するため、市内中小企業が行うパウダールーム等の導入や女性活躍に向けた専門家によるコンサルティング等の費用の一部を助成する。		●	中小企業振興課	支援企業のうち、女性の新規雇用を行った企業割合	—	—			100.0% (R9まで)						15,000
	14	女性活躍職場の拡大に向けた広報・専門家派遣事業	女性に魅力のある職場づくり支援と女性の就業率向上を図るため、市内企業の女性活躍に関する先進的な取組を発信するほか、人手不足や女性採用に課題を持つ企業に対して専門家の派遣等を行う。		●	中小企業振興課	女性の就業率の向上	79.8%	R4			82.0% (R10まで)						3,000
多様な人材(高齢者、外国人)の活用による人材確保	15	外国人材活用の普及・啓発事業	海外において優秀な外国人材獲得のチャネルを拡充するとともに、外国人材の雇用を必要とする市内企業への需要喚起、課題解決支援及び就職後の定着支援を行う。	●	●	国際ビジネス戦略課	北九州地域の外国人労働者数	9,183人	R5	10,580人	11,280人						12,200	22,200
	16	高齢者就業支援センター運営事業	元気で働く意欲のある高齢者が、豊かな経験や能力を生かし、生涯現役でいきいきと働けるように、就業相談やキャリアカウンセリング、資格取得サポートを実施するとともに、シニア・ハローワークなど各種支援機関と連携してワンストップで就職支援を行う。	●	●	雇用・産業人材政策課	高齢者就業支援センター就職決定者数	1,096人	R5	1,250人	1,250人						31,857	31,857
バックアップ首都構想の推進	17	北九州市産業振興未来戦略推進事業	「稼げるまち」の実現に向けて、「北九州市産業振興未来戦略」の実効性を高めるため、「北九州市成長戦略会議」におけるKPI達成に向けた戦略全体の進捗管理及び「官民対話テーブル」におけるリーディングプロジェクトの推進を図る。	●	●	産業政策課	市内総生産4兆円 (R15年度)	3.7兆円	R2	—	—						3,000	3,000
	18	企業立地促進補助金	企業誘致のインセンティブとするため、企業に対し、設備投資額、雇用人数に応じ、補助金を交付する。	●	●	企業立地支援課	企業誘致における新規雇用創出数 R6～R10(累計)	4,335人	R元～R5(累計)	1,020人	2,040人						863,700	1,723,000
未来産業の推進(半導体産業、次世代自動車産業、宇宙産業)	19	「稼げるまち」への原動力～未来産業推進事業～	「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車などの未来産業について、研究開発や人材育成、企業競争力の向上などに取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を図る。	●	●	未来産業推進課	新ビジネスの創出件数	—	—	1～2件	7件 (R7まで)						131,400	140,882
学術研究都市2.0戦略	20	「稼げるまち」への原動力～未来産業推進事業～	「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車などの未来産業について、研究開発や人材育成、企業競争力の向上などに取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を図る。	●	●	未来産業推進課	新ビジネスの創出件数	—	—	1～2件	7件 (R7まで)						131,400	140,882
	21	学術研究都市管理運営事業(指定管理)	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図る。	●	●	未来産業推進課	施設の稼働率	35.8%	R5	32.0%	32.0%						784,620	784,620

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
物流拠点化の推進	22	半導体等サプライチェーン構築事業	九州への半導体関連投資の増加による輸送需要増を新たなビジネスにつなげるため、北九州市につながる荷の流れを生み出し、輸送ネットワークを構築することで、九州における半導体サプライチェーンを支える「半導体物流ハブ」の形成を図る。	●	●	物流拠点推進室	流通加工機能を備えた大型物流施設の立地箇所数	0箇所	R5	0箇所	1箇所						25,000	14,000
	23	九州発貨物の集約拠点化支援事業	九州の発貨物を北九州市に集積させる取組に対する支援として、北九州市中央卸売市場等における農産物を集約した首都圏又は関西圏向けフェリー輸送に対し、必要となる経費の一部を補助する。	●	●	物流拠点推進室	九州発農産物の集約拠点化	R5.11より中央卸売市場内のストックポイントが稼働	R5	ストックポイントの稼働率向上	ストックポイントの稼働率向上						13,000	5,844
企業変革や企業規模拡大など地域中核企業の成長促進	24	「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト	将来の成長の糧となる新規事業創出など新たなチャレンジに対して総合的・集中的支援を行うことにより、企業変革や企業規模拡大を図り、市内の「地域中核企業」の成長を促進する。	●	●	産業政策課	新規事業着手等企業成長に取り組む企業数	—	—	—	15社						6,000	25,000
市内企業における成長分野等への事業転換、商品・サービスの高付加価値化の推進(ロボット・DX・AIの活用など)	25	生産性向上、事業変革に向けたロボット・DX推進事業	市内中小企業のロボット導入やDX推進に向けて、ロボット・DX推進センターを中心に、企業の事業変革に向けた重点支援をはじめとした切れ目のない伴走支援を実施することで、稼げる企業を創出する。	●	●	未来産業推進課	事業変革実践企業数(累計)	6社	R5	20社	30社						249,400	199,900
	26	マーケットインプロダクト創造事業	優れた技術や独自のサービス・製品を有し、新事業や新分野への展開を図る中小企業に対し、専門家によるマーケットイン型の製品・サービス開発や販路拡大・営業力強化に対する伴走支援を行うことにより、「稼ぐ企業」への変革を促進する。	●	●	中小企業振興課	商品開発に成功した企業又は販路が拡大した企業の割合	—	—		100.0%							10,041
	27	物価高騰に立ち向かう中小企業等に対する生産性向上支援助成金	物価高の影響により厳しい経営環境にある中小企業等が行う、生産性向上の取組(省エネ投資、効率化・高収益化等)に要する費用の一部を助成する。	●	●	中小企業振興課	支援企業のうち、生産性向上に取組む企業割合	—	—		100.0%							30,000
市内製造業(部品や素材などのサプライヤー)の事業構造転換の推進(「EVシフト」や「電炉化」などへの対応)	28	電炉化サプライチェーン対策支援事業	世界的な産業の脱炭素化が進む中で、製鉄業における高炉プロセスから電炉プロセスへの転換に伴い、必要・変更となる技術や市内のサプライチェーンを調査し、これまで地元企業が培ってきた独自技術の活用や新たな事業展開を支援する。	●	●	中小企業振興課	事業変革等支援企業数	—	—	10社	10社						3,080	3,080
中小企業の事業承継の推進(M&Aなど)	29	のれん引継ぎスタートアップ支援事業(R6)のれん引継ぎプロジェクト事業(R7)	後継者不在で悩む個店等の小規模事業者の事業承継を支援するため、民間事業者が運営するマッチングサイトのプラットフォームを活用し、後継者不在の個店と後継ぎ希望者を「ツナグ」ことで、次世代の創業支援と、個店の存続・廃業防止を図る。	●	●	中小企業振興課	売り手事業者の掘り起こし件数(サイト掲載件数)	—	—	5件	5件						4,000	4,000
	30	事業承継・M&A促進化助成金	地域経済の基盤を支える市内中小企業がこれまで培ってきた技術や知識を円滑に次世代へ承継し、企業の存続・発展につなげるため、事業承継に向けた企業の取組に要する費用を助成し、事業承継の推進を図る。	●	●	中小企業振興課	事業承継計画の策定企業数及びM&Aの完了企業数の合計	—	—	2社	2社						2,500	3,000
II 「彩りあるまち」の実現																		
官民連携によるまちづくりの推進	31	商店街リノベーションまちづくり推進事業	商店街でまちづくりに取り組む民間事業者と連携してリノベーションまちづくり事業を実施することで、中心市街地の活性化及び商業的エリア価値の向上を図る。	●	●	サービス産業政策課	黒崎地区の商店街エリアの空き店舗率	16.9%	R3	14.1%							4,000	

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
大型商業施設・商店街の振興	32	商店街プレミアム付商品券発行支援事業	物価高騰の影響を受けている地域の消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援する。	●	●	サービス産業政策課	消費喚起効果	—	—	2倍以上を維持	2倍以上を維持						237,000	250,000
	33	商店街テナントリーシング支援事業	小倉都心部等における大規模空き店舗を資産として位置づけ、エリアの価値を高めるため、官民連携して集客力や話題性のあるテナントを誘致し、商店街の活性化と経済の振興を図る。	●	●	サービス産業政策課	歩行者通行量(小倉都心部)	138,800人	R5	156,300人	156,300人						5,000	5,000
	34	大きなシャッターヒラックプロジェクト	商店街テナントリーシング実行委員会が推薦する話題性・集客力のある大規模テナントを誘致する際のインセンティブとして、出店テナントに対し改装費等の経費の一部を補助する。	●	●	サービス産業政策課	歩行者通行量(小倉都心部)	138,800人	R5	156,300人	156,300人						20,000	10,000
	35	魅力ある商店街づくり支援事業	商店街活性化の担い手となる人材育成や、商店街間の連携強化、新たな情報発信等により、商店街の人材力・組織力を強化し、持続可能で魅力ある商店街づくりを目指す。 また、商店街の空き店舗の有効利用促進や、新たな取組を支援し、商店街活性化を促進する。	●	●	サービス産業政策課	受講者によるイベント企画件数	—	—		4件							26,000
	36	紫川エリア活性化支援事業	商業の振興とまちの活性化を図ることを目的として、小倉の中心市街地を流れる紫川河畔を拠点とし、都市の回遊性の向上及びナイトタイムエコノミー(夜間における経済活動)の創出に寄与するイベントを実施する事業者に対し補助金を交付する。	●	●	サービス産業政策課	観光消費額	1,004億円	R5	—	1,700億円						10,000	11,780
	37	ナイトタイムエコノミー推進プロジェクト	本市への来街者に夜まで楽しんで消費してもらうため、「外需取込み(インバウンドやアフターコンベンション)」「内需拡大(市民の新たな楽しみ)」に向けた繁華街の魅力向上支援を行う。	●	●	サービス産業政策課	宿泊客数	185.2万人	R5		240万人							6,000
	38	黒崎地区活性化支援事業	商業の振興とまちの活性化を図ることを目的として、黒崎地区の魅力向上、活性化につながるイベントをする事業者に対し補助金を交付する。	●	●	サービス産業政策課	観光消費額	1,004億円	R5		1,700億円							10,000
都市ブランドの確立(ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ)	39	地域の人事部支援事業	若い世代の人材不足が強まるなか、採用にコストや人を割けない中小企業では、人材確保が困難な状況にあるため、企業合同による人材の発掘からマッチングづくりを一気通貫で支援し、若手人材の確保と定着を図る。 併せて、経営層等に対して、多様な人材が働きやすい環境づくりや、人材育成など人的資本経営の重要性を理解するためのマインドセットセミナーを行いサポートする。	●	●	雇用・産業人材政策課	最終選考候補者数	—	—	30人	30人						20,000	25,000

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
II 「彩りあるまち」の実現																		
彩りある文化・芸術によるにぎわいの推進																		
	1	北九州国際音楽祭	地域の音楽文化の向上を図るため、国内外の一流のアーティストによる公演や小中学生の鑑賞教室など、多彩なプログラムの国際音楽祭を開催する。	●	●	文化企画課	北九州国際音楽祭の参加者の満足度維持	99.0%	R4	90%以上	90%以上						38,000	38,000
	2	芸術文化活性化事業	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽や舞台芸術等を提供する。	●	●	文化企画課	自主事業の参加者の満足度維持	芸術劇場92.9% 響ホール99.1%	R4	90%以上	90%以上	文化のかおるまちと思う市民の割合の増加 (R11目標：40%)	28.5%	R4	30.0%	32.0%	92,900	83,000
	3	芸術文化育成負担金・補助金	北九州市の文化水準の向上及び地域文化の振興に資することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	●	●	文化企画課	文化団体事業参加者数 (文化芸術に触れた人数)の維持	56,000人	R4	56,000人	56,000人	文化芸術活動をした市民の割合の増加 (R11目標：30%)	16.9%	R4	20.0%	22.0%	35,000	34,000
	4	文化芸術次世代育成事業「TRY ARTs」	子どもの文化芸術環境のさらなる向上や、若者の文化芸術活動の活性化、まちの賑わいづくり等に繋がる事業への助成を行う。	●		文化企画課	活動のステップアップにつながった事業の割合70%以上	—	—	70%以上		文化芸術を身近に感じる市民の割合の増加 (R11目標：40%)	30.5%	R4	31.0%		5,000	
	5	新世代応援「(仮称) Challenge Music Stage」	北九州市内のまちなかをステージとして、高校生や大学生などがパフォーマンスを多くの人に見せる「お披露目の場」をつくり、若者が活躍・成長する機会やまちの賑わいを創出する。	●		文化企画課	活動意欲の向上につながった割合80%以上	—	—	80%以上							2,000	
	6	(仮称) キタキューまちなかアート事業	演奏会や子ども向けワークショップなど、まちなかで音楽やアートに気軽に楽しむことができるイベントや、市民みんなで公共空間をペインティングし、アトスポットを生み出す取組などを実施する。 また、若者の文化芸術活動の活性化、まちの賑わいづくり等に繋がる事業への助成を行う。	●		文化企画課	参加者の満足度	—	—		80%以上	文化芸術を身近に感じる市民の割合の増加 (R11目標：40%)	30.5%	R4				20,000
	7	美術館企画展	多彩で魅力的な展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を推進し、ハイクオリティな街づくりに寄与する。	●	●	美術館普及課	美術館入館者数	187,000人	R4	200,000人	200,000人						104,265	103,039
	8	北九州市立美術館デジタルアーカイブ化事業	作品・建築のデジタル化を推進するため、文化庁補助事業を活用した美術館DX化事業を実施する。	●		美術館普及課	美術館入館者数	187,000人	R4	200,000人							40,000	
	9	博物館企画展・特別展充実事業	入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催する等、東田地区のさらなる賑わいを創出する。	●	●	自然史・歴史博物館普及課	博物館総入館者数	431,278人	R5	450,000人	470,000人						55,500	71,275
	10	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画文化の普及・振興を図り、北九州市及び漫画ミュージアムの魅力を国内外に発信するため、常設展示の充実、企画展やイベント等を開催する。	●	●	漫画ミュージアム事務局	漫画ミュージアム入館者数	95,252人	R5	100,000人	100,000人	漫画ミュージアムの認知度	—	—	50.0%	50.0%	56,900	56,060

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
	11	北九州国際映画祭関連事業	北九州国際映画祭の開催を通じて、北九州市から世界に羽ばたいていった映画や映画人が北九州市に再び集い、市民との交流や映画をテーマにしたイベントを実施するとともに、映画人材の育成を促進する。	●	●	MICE・エンターテインメント課	パブリシティ効果	3億円	R5	2億円	2億円	来場者の満足度アンケートで「満足」「やや満足」と回答した人の割合	90.0%	R5	90.0%	90.0%	20,000	23,000
スポーツによるにぎわいづくり	12	大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	大規模国際スポーツ大会の積極的な誘致とあわせて、サステナブルな意識を高めた大会運営ができる受け入れ体制を整備するとともに、選手等とのスポーツ交流や、インクルーシブなスポーツイベントの実施により、生涯スポーツの振興とまちのにぎわいづくりに寄与する。	●	●	スポーツ振興課	スポーツを身近に感じる市民の割合(R11目標：70%)	44.4%	R4	50.0%	54.0%	スポーツ実施率(R11目標：70%)	56.6%	R4	60.0%	62.0%	10,300	239,370
プロスポーツチーム等との連携によるまちづくりの推進	13	ホームタウン推進事業	北九州市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「日本製鉄堺プレイヤーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施する。	●	●	スポーツ振興課	スポーツを身近に感じる市民の割合(R11目標：70%)	44.4%	R4	50.0%	54.0%	スポーツ観戦率(R11目標：40%)	20.0%	R4	25.0%	28.0%	58,000	55,000
集客力のある大規模イベントの誘致	14	TGC北九州2024開催事業(R6) TGC北九州2025開催事業(R7)	史上最大のファッションフェスタである「東京ガールズコレクション」とコラボレーションしたファッションイベントを本市で開催し、地方創生に向けた都市ブランドの向上と地域経済の活性化を図るとともに、同規模イベントの開催誘致の促進を行う。	●	●	MICE・エンターテインメント課	大型イベントの開催件数	4件	R5	7件	10件						35,000	35,000
	15	MICE・エンタメを活用した集客促進事業	市外からの来訪者が大半を占めるコンサート等のエンターテインメントや海外からの来訪者が多い国際会議等を誘致することにより、交流人口の創出・拡大による経済の活性化を図る。将来的には民間事業者による自走を目指し、コンサート開催地としての都市のイメージアップを目指す。	●	●	MICE・エンターテインメント課	大型イベントの開催件数	4件	R5		10件							17,000
若者が集うイベントの誘致	16	COOLKITAKYUSHU推進事業(R6) 「ポップカルチャーのまち北九州」推進事業(R7)	北九州市の都心集客の拠点となるJR小倉駅新幹線口を中心に、漫画・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーによる大型イベント等の開催を通じて、誘客やクリエイター産業の交流・育成を図るとともに、滞在日数の増加・インバウンド誘客を図り、「まち」への経済効果を高める。	●	●	MICE・エンターテインメント課	大型イベントの開催件数	4件	R5	7件	10件	大型協賛(300万円以上)企業数	—	—	1件	3件	31,000	30,800
7区の特徴を生かした観光コンテンツの魅力向上(観光地、祭りなど)	17	日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業	「日本新三大夜景都市」全国1位(令和6年、2回連続)の認定を受け、本市の夜型観光をさらに促進させるため、プロモーションを強化するとともに、代表的な夜景鑑賞地である皿倉山頂に光の装飾を施したフォトスポット整備などを実施する。	●	●	観光課	観光消費額	1,004億円	R5	—	1,700億円						20,000	15,000
	18	門司港レトロリニューアル事業	門司港レトロ地区において、さらなる魅力向上施策を推進し、観光客誘致や観光消費額の増加を促進する。	●	●	門司港レトロ課	門司港地区の観光客数(地区別観光客数)	173.6万人	R4	—	300万人						381,176	393,084
	19	小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業	長崎街道(シュガーロード)など、小倉城関連の歴史的・文化的資源の掘り起こしや、観光資源の磨き上げ・施設設備の老朽化対策等を図り、広域的な連携を含めた情報発信を実施する。	●	●	観光課	小倉城入場者数	25.8万人	R5	25万人	30万人	観光消費額	1,004億円	R5	—	1,700億円	8,000	6,600
多様な観光ニーズへの対応(ステイケーション、ロングステイ、サイクルツーリズム、トレッキング、富裕層向けサービスなど)	20	海外作品等誘致・支援事業	タイを中心としたアジア諸国の映像作品の撮影を誘致することで、当該映像作品の公開の人々に広く認知される北九州市を知ってもらい、さらには北九州市の魅力を発信することで観光客(インバウンド)誘致につなげる。	●	●	MICE・エンターテインメント課	海外映像作品撮影による直接経済効果	26,420千円	R5	30,000千円	50,000千円						8,300	7,300

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

都市ブランド創造局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
「食」の魅力を活かした周遊観光の推進(寿司&キャッスル)	21	満喫☆北九州! スシ&キャッスル+ステイ促進事業	JR等民間事業者によって、寿司の定額クーポンが新たに販売されている。 この仕組みを活かし、食をフックにした宿泊・周遊促進に取り組むとともに、民間サイドの動きへの支援を通じ、寿司の観光コンテンツ化を図る。	●		観光課	観光消費額	1,004億円	R5	—							10,000	
	22	「すしの都 北九州」ブランド発信事業	「すしの都 北九州」のイメージ定着に向けた気運の醸成、宿泊とすし等を組み合わせた旅行商品造成、小倉城など市を代表する観光施設でのすし握り体験会などを実施する。		●	観光課	観光消費額	1,004億円	R5		1,700億円							
外国人観光客の誘客の推進	23	MICE誘致推進強化事業	MICE開催を通じて海外から企業・大学などの主要な研究者等、次世代の人材を多く集め、北九州市の知名度向上を図るとともに、集まった人を市内へ送り出す地域経済の活性化に資する取組みを強化する。	●	●	MICE・エンターテインメント課	経済波及効果	114億円	R5	120億円	130億円						81,000	81,000
	24	インバウンド誘致強化事業(R6) インバウンド誘致促進事業(R7)	北九州空港・福岡空港に直行便のあるエリアを主なターゲットとして、観光プロモーション(情報発信)や受入環境の整備等を行い、外国人観光客の誘客促進を図る。	●	●	観光課	外国人観光客数	26.9万人	R5	—	70万人	外国人観光消費額	—	—	—	400億円	182,029	140,700

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。